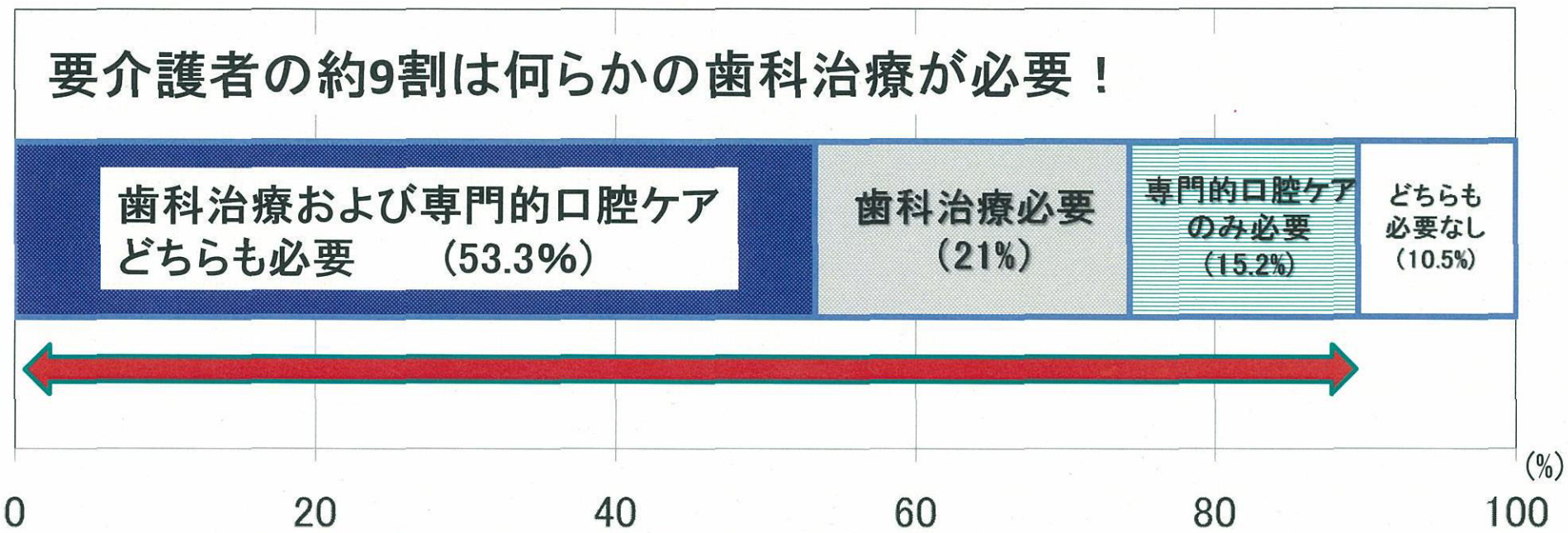


# 図1.要介護者の口腔状態と歯科治療の必要性

厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)2002  
(対象;要介護者 368名 平均年齢81歳)



しかしながら実際に歯科受診した要介護者は約27%！

↓

要介護高齢者における歯科医療の需要・供給体制の間に差がある。

## 図2. 在宅療養支援歯科診療所の新設(平成20年診療報酬改定)

在宅または社会福祉施設等における療養を歯科医療面から支援する  
 歯科診療所を「在宅療養支援歯科診療所」と位置付け、その機能を評価した。

在宅療養支援歯科診療所届出割合(H21年4月時点)

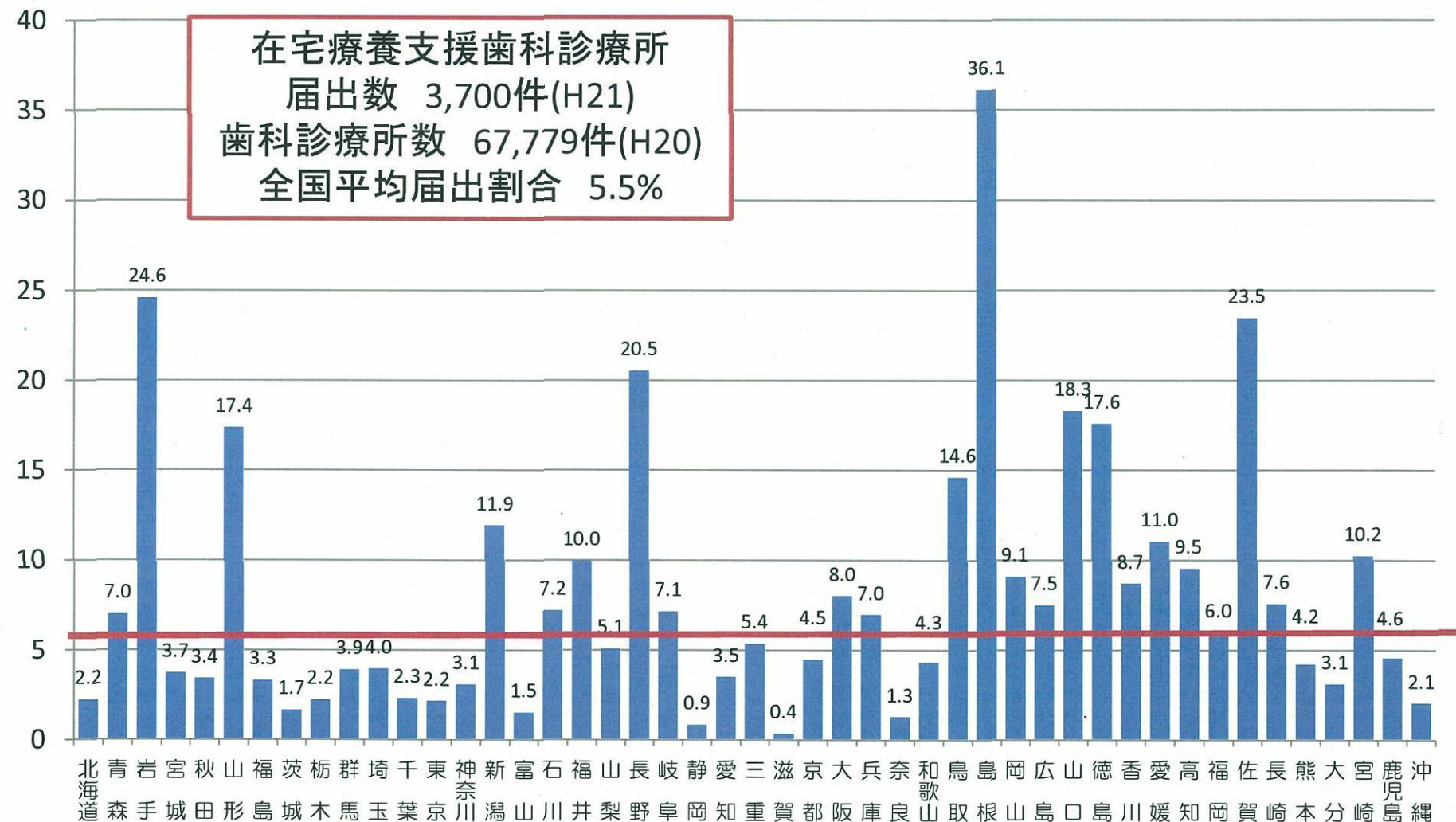
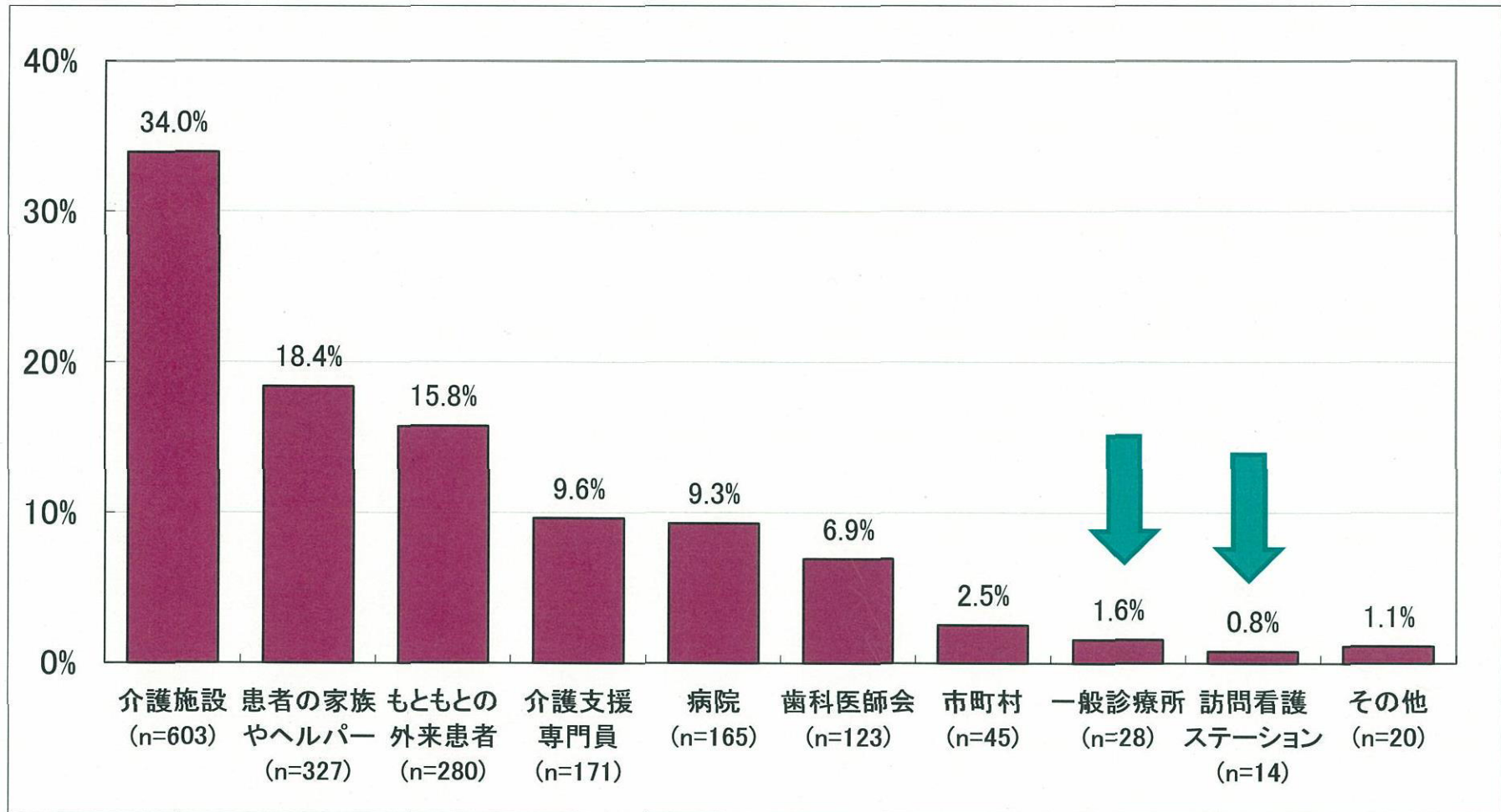


図3. 在宅歯科医療の依頼元(在宅療養支援歯科診療所調査)



在宅歯科医療の依頼は介護施設からが多く、一般診療所や訪問看護ステーションからは極めて少ない。

在宅療養支援歯科診療所調査より  
(平成21年 日本歯科総合研究機構)

## 図4. 要介護者における医療・介護サービスでの口腔ケアの利用状況

熊本県内介護支援専門員49名を調査員とし、要介護者とその介護者(家族)500名を対象に聞き取り調査(日本公衛誌:Vol.53、2006)

質問	回答者率	
かかりつけ歯科医院を持っているか	ある	61.4
	ない	38.6
訪問歯科診療制度	利用したことがある	7.0
	制度は知っているが医院を知らない	32.4
	<b>全く知らない</b>	<b>59.2</b>
介護保険サービスでの口腔ケア指導	利用したことがある	1.2
	あることは知っている	18.8
	<b>全く知らない</b>	<b>79.8</b>
介護支援専門員による 口腔ケア提案状況	提案がありサービスを受け入れた	5.0
	提案はあったが断った	11.6
	全くなかったので相談した	0.4
	<b>全くなかった</b>	<b>82.0</b>
最も必要な情報は何か	相談窓口や治療に関する情報	37.6
	介護サービス提供者からの指導・助言	24.0
	提供される援助に関する情報	33.0

口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防、口腔機能向上によるむせや口腔乾燥の減少等口腔関連サービスがたいへん効果があるにもかかわらず、要介護者とその介護者(家族)における介護保険サービスでの口腔ケア指導に対する認知度や、介護支援専門員による口腔ケア提案状況が極めて低い状況にある。